２０２３年度（令和５年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	数　学	科目	数学Ⅱ	単位数	４	学年	２	科	全学科

１、科目の目標

式と計算、図形と方程式、いろいろな関数の考え方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

２、使用教科書・副教材

改訂版　新　高校の数学Ⅱ（数研出版）、ポイントノート　数学Ⅱ（数研出版）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	第１章　複素数と方程式 　第１節　式と方程式 　第２節　複素数と方程式 　第３節　式と方程式 第２章　図形と方程式 　第１節　点と直線	中間考査 期末考査	４０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	第２節　円 第３章　三角関数 第４章　指数関数・対数関数 　第１節　指数関数 　第２節　対数関数	中間考査 期末考査	５６
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	第５章　微分法と積分法 　第１節　微分法 　第２節　積分法	期末考査	４４

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する。	
		テスト後の提出物の内容を評価する。	
	観点別評価	観点(1)：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」数４による。
		観点(2)：思考・判断・表現を評価する。	
		観点(3)：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

授業で不明な点は、授業者に適宜質問するようにする。
授業内の問題演習の時間で、学習内容の理解と定着に努める。
自主的に提出課題やプリントに取り組み、数学的な物事の考え方を身に着けられるようにする。